



「銀座駅デザインコンペ」編

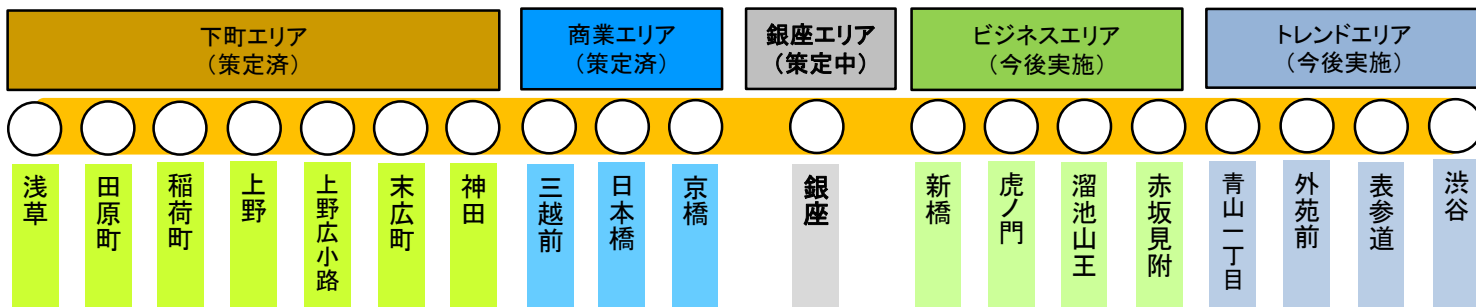
東京メトロではこれからも地域の皆さまに末永く愛される銀座線であり続けるため、2012年12月から銀座線駅デザインコンペを実施中です。今回は、現在選考が進んでいる「銀座駅デザインコンペ」についてご紹介します。

「銀座線駅デザインコンペ」の概要と進捗状況

銀座線は、【伝統×先端の融合】をリニューアルコンセプトとし、5つのエリア（下町、商業、銀座、ビジネス、トレンド）に分けて、駅リニューアルプランの策定を進めています。2012年12月以降、下町エリアと商業エリアのデザインコンペはすでに終了し、現在は銀座エリアのデザインコンペを実施しています。

【参考】コンセプト及びエリアについて

ラインデザインコンセプト	ゆめ-plus あの頃感じた心躍る憧れ感	まち-ism 地上に広がる街への誘い
ラインデザインコンセプト	①まちの要素を駅デザインに取り入れ、まちを感じられる駅にする ②駅に様々なつながりをつくる ③建築・照明・ファニチャーが一体となったトータルなデザインを展開する	



下町エリアと商業エリアのデザインコンペ結果

2012年12月から2013年4月にかけて第1弾の「下町エリア」、2014年3月から7月にかけて第2弾の「商業エリア」のデザイン選定を実施しました。コンペの参加者は設計事務所等に勤務するプロフェッショナルから沿線地域に在住されている方まで、年齢層では10代の方から80代の方までと幅広い皆様にご提案いただきました。どの作品も駅と地上の街とがつながるような空間づくりがなされ、地下鉄への期待感が感じられるような空間デザインとなっています。



下町エリア 最優秀賞 (プラットフォーム)



商業エリア 最優秀賞 (改札)

第3弾！「銀座のまちの地下1階」をテーマとした銀座駅コンペ

このたび、下町エリア、商業エリアのコンペに引き続き、第3弾として、銀座駅を対象にお客様から広く駅デザインを公募する「東京メトロ銀座線（銀座駅）駅デザインコンペ」を開催することになりました。今回の商業エリアのデザインについては、「地下にいながら地上を感じることができる『銀座のまちの地下1階』としての空間のあり方を問うコンペと位置づけ、駅デザインと豊かなユーザー経験をご提案いただき、地上・地下が一体となった新しい銀座駅」をテーマにしました。

東京メトロは、東洋初の地下鉄として開業以来、東京の街をつないできました。87年の伝統を引き継ぎ、世界トップレベルの安全・安心を守りながら、洗練された空間とサービスにより、日本だけでなく世界中から訪れるお客様に「豊かな経験」を提供することを目指します。

出入口を認知し、切符を購入し、改札口を抜け、コンコースを通過してプラットフォームに入り、電車の到着を待つといった一連の移動の中で、駅デザイン、車両のデザインをはじめ、サインや広告などの視覚に訴えるもの、アナウンスや発車ベル、お客様の話し声など五感で感じるものに加えて、利用するサービス、駅員とのやりとり、またそれにより湧いてくる心地よさ、喜び、発見などの感情すべてを含むものです。

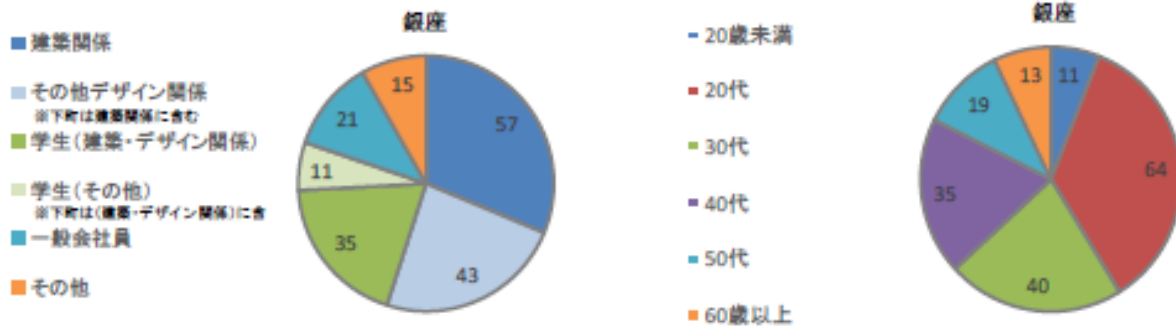
【参考】実施スケジュール

1月21日（水）	申込受付開始
3月6日（金）	事前登録×切
3月17日（火）	作品提出×切
3月27日（金）	社内審査
4月9日（木）	一次審査
5月27日（水）	二次審査
6月18日（木）	結果発表・授賞式

応募総数182作品！一次審査を経て16作品に絞る

3月17日（火）に作品の提出を締め切りました。作品の応募総数は、182作品と前回より多く、設計事務所等に勤務するプロの方はもちろん大学生や高校生など、幅広い世代の方から応募をいただきました。これらのすばらしい作品を20名の社内外審査委員による一次審査を実施し、16作品に絞り込みを行いました。

【参考】応募者の属性（左グラフ）及び年齢層（右グラフ）について



プレゼンテーションによる二次審査を実施、結果発表へ

一次審査を通過した作品に対して、5月27日（水）にプレゼンテーションによる二次審査を行い、応募者の皆様がお持ちのユーザー経験に則り、熱のこもったご説明をいただきました。最終結果発表及び表彰式は6月18日（木）に資生堂花椿ホールにて予定しています。



二次審査の様子



審査員による討議の様子